

## CONTENTS

- P1 【活動報告】平成 14 年度札幌圏 ITS 推進フォーラム  
 講演会開催報告  
 P2 【活動報告】地域 ITS 推進研究会開催報告  
 P3 【お知らせ】  
 P4 【お知らせ】

NO. 7

## 活動報告：平成 14 年度講演会開催報告

さる平成 15 年 1 月 22 日（水）ホテル札幌ガーデンパレスにおきまして、札幌圏 ITS 推進フォーラムおよび北海道土木技術会道路研究委員会の主催、札幌商工会議所の後援によりまして、平成 14 年度講演会を開催いたしました。当日は主催団体会員 81 名、後援団体会員他 29 名、合計 110 名の方にご参加いただきました。多数の方にご来場いただきましたことにつきまして紙面を借りましてお礼申し上げます。プログラムは以下のとおりです。

### 平成 14 年度札幌圏 ITS 推進フォーラム講演会

#### プログラム：

- |                               |             |
|-------------------------------|-------------|
| 開会：事務局長                       | 14:00～14:05 |
| あいさつ：幹事長                      | 14:05～14:10 |
| 講演1：                          |             |
| 「ITSの民間市場はあるのか？～大学発ベンチャーの挑戦～」 |             |
| 講師：(株)アイ・トランスポート・ラボ           |             |
| 代表取締役 堀口 良太 氏                 | 14:10～15:10 |
| 質疑応答：                         | 15:10～15:20 |
| 講演2：                          |             |
| 「あいちのITSと世界会議」                |             |
| 講師：愛知県 ITS 推進協議会              |             |
| 事務局次長 水野 敬一 氏                 | 15:20～16:00 |
| 質疑応答：                         | 16:00～16:10 |
| 講演3：                          |             |
| 「さつまろフットナビ!について」              | 16:10～16:40 |
| 講師：札幌市企画調整局情報化推進部 IT 推進課      |             |
| プロジェクト担当課長 石垣 学 氏             |             |
| 質疑応答：                         | 16:40～16:50 |
| 閉会：16:50～17:00                |             |

まず始めに当フォーラム幹事長の加治屋（独立行政法人北海道開発土木研究所道路部防災雪氷研究室長）よりご来場いただきました皆様へご挨拶させていただきました。



（上写真）講演会場の様子



（上写真）加治屋幹事長の挨拶の様子

続いて講演 1 としまして、(株)アイ・トランスポート・ラボの堀口様にご講演いただきました。

ご講演では、まず ITS の 10 年を堀口様の視点から振り返り、現在の ITS 市場に漂う閉塞感や ITS から IAS(Intelligent Activity Service)への転換というご提案がありました。続いて、交通情報流通市場の中でのベンチャーの役割について、技術開発型・ビジネスモデル型にわけてご説明がありました。

技術開発型ベンチャーとしては、堀口様が現在取り組まれ



（上写真）講演会受付の様子

ている事業内容・事例を中心にお話いただきました。最後に期待されるアクティビティ情報と流通ビジネス像のご説明があり、ご講演は終了となりました。

会場からは、今後の民間市場での道路交通情報のあり方について、天気情報と比較した質問がありました。堀口様からは、これまでと異なり行政側から道路交通情報が開放されてきており、利用者の用途に対応して様々な情報提供者が現れることが望ましいあり方であるというご回答をいただきました。

ITS の民間市場のあり方については、現在当フォーラムでも実施しております産学官民連携による地域 ITS 推進研究会でも参考になる内容でした。



(上写真) ご講演中の堀口様

休憩をはさみ、講演 2 として、愛知県 ITS 推進協議会の水野様にご講演いただきました。



(上写真) ご講演中の水野様

水野様のご講演では、まず、はじめに今後の愛知県内の道路・交通に関する主要なプロジェクトをご講演の背景としてご説明いただきました。

続いて愛知の ITS 推進について愛知県 ITS 推進協議会の活動などを含めこれまでの経過のご説明と取り組まれている 8 つの ITS 事例紹介のご説明がございました。自動車をはじめ、道路、鉄道、航空と幅広く ITS へ取り組まれているほか、愛知県を中心とした一万人を対象としたアンケート調査を行う等、広報啓発活動にも力を入られていることについては、当フォーラムの今後の活動に非常に参考になりました。

最後に、2004 年に予定されている ITS 世界会議についてその概要と ITS ショーケースのご説明がありました。

今回のご講演では合計 7 種類を数えた資料をお持ち頂き、また世界会議についてはビデオでのご説明もあるなど、幅広い分野で様々なツールを用いながら、積極的に ITS の展開へ取り組まれている姿勢が随所にうかがえました。

ご講演後、会場から、歩行者 ITS のイメージはどのようなものか、大規模イベント実施後の利用者を対象とした事後アンケートについての情報提供、これからの ITS の推進に対して現実的に発生している問題とのギャップについての利用者の声はあったのか、など複数の参加者からの質問があり、これに対して水野様より、歩行者 ITS は名古屋地域および万博会場において身障者の方や目の不自由な方を対象とした取組みを検討中であること、現実的に発生している問題については 2004 年 ITS 世界会議に向け各機関が連携して ITS の導入により解決を図っていききたいなどのご回答をいただきました。



(上写真) ご講演中の石垣様

続いて講演 3 として、札幌市 IT 推進課の石垣様にご講演いただきました。

石垣様のご講演は「さっぽろフットナビ！」と題しまして、観光都市としての札幌の魅力度向上に IT 技術を活用した取組みについて、ビデオを交えながらご紹介いただきました。

札幌市情報化推進部の位置付けや現在の取組みのお話から始まり、フットナビの開発背景や開発時のご苦労話、また官民共同での情報編集体制など、産学官民連携での実施という面でも今後の ITS サービスの実施について参考になった内容でした。また、ご講演の力点は観光集客でしたが、見方を変えると ITS サービスの一つでもある「歩行者 ITS」にも活用が可能ではないかと思われます。

会場からは、今後サービス自体が充実・拡充していくと情報量が増えるが、新鮮な情報を継続的に収集・選択する体制についてどのような構想があるかというご質問があり、石垣様からは、今後の検討課題であるが、市民の視点で NPO や市民の方の意見を大切にして、学術機関等とメンテナンスの方法を研究していきたいというご回答をいただきました。

以上、3 時間にわたり活発なご議論をいただき有意義な講演会となりました。最後にあらためて講師の皆様、参加していただいた皆様にお礼を申し上げます。

(以上、報告：事務局 金村直俊)

2004 年の ITS 世界会議の情報は、随時、当フォーラムからもご案内する予定です。

## 地域 ITS 推進研究会開催報告

標記研究会は今年度の調査研究事業の一環として実施しているものです。会員の皆様には、この研究会の進め方などについてアンケート調査にご協力頂き、その結果を担当幹事が取りまとめ、本年度は3回実施することとなりました。

今回は第1回および第2回の研究会の開催結果についてご報告いたします。

### 第1回地域 ITS 研究会

日時：平成14年12月18日(水) 18:00～20:00

場所：(財)北海道道路管理技術センター会議室

参加者数：39名

概要：北海道開発局道路計画課 近添様より、北海道における ITS の取組み事例や推進に向けての課題などのご紹介をいただいた後、参加者からの質問への回答や活発な意見交換が行われました。

#### 1. 話題提供「北海道の ITS の取組みについて」

(北海道開発局道路計画課 第1調査係長 近添幸司様)

##### 1) 北海道の地域課題とその対応

北海道における ITS では、冬への対応、防災・安全への対応、地域の活性化・観光の支援、渋滞・沿道環境への対応、安心・快適な生活環境の支援の地域課題に取組んでおり、なかでも 冬への対応は、北海道特有の課題である。

##### 2) 道内の ITS 取組み事例

北海道開発局の取組み事例として、冬期における ITS (7事例)、安全に関する ITS (2事例)、観光を支援する ITS (2事例)、その他 (1事例) についての事例ごとに紹介。

##### 3) ITS 実現に向けた取組み

通信基盤の地域格差の解消、情報機器の利用が不慣れな人への対応などについての取組み事例の紹介。

##### 4) 北海道の ITS 推進

今後の推進のためには、既存研究会や関係者との連携や、官民で連携した ITS の運用方策、および共通基盤の有効活用などが重要。ITS 活用による今後のポイントとして、問題解決型による ITS 展開を図り、短中期において実現可能なものを集中的に実施するとともに、道路情報だけではなく地域情報の一体的な情報の発信が重要である。



#### 2. 意見交換会 (一部)

北海道の ITS について、各会員の立場からの意見交換が行なわれました。以下に主要な意見を掲載します。

- ・現在、ITS は曲がり角を迎えている。ここ2～3年が岐路であり、ニーズに裏付けられた ITS を確立しなければならない。また ITS は、かなりの部分で民間との連携が必要であり、マーケットに乗るものでなければならない。

- ・これまでともすればシーズがあるから ITS を実施するという点も見受けられたが、今後はニーズが重要である。

- ・例えば所用時間情報や路面情報など、市民がお金を出してでも必要と感じる情報提供が必要である。

- ・市民が必要と考える情報を把握する手法について、ヒアリング調査などが大切である。

- ・官が持っている情報を民間に公開し、情報の活用アイデアを募集して、よいアイデアには開発費を補助するというような取組みをしてはどうか。

- ・ITS は人・道路・車を対象であるが、「車」への対応事例や活用事例が少ないと思う。

- ・官の情報だけではなく、タクシー、バスなど民間からの情報を利用し、より有効なシステムの構築が必要である。

- ・すべてが官側による整備ではなく、市民ニーズと道路管理者の果たすべき役割のバランスを見極める必要があるが、民側への負担をどこまでお願いできるのか、官側もどこまで補助できるのか決めかねているのが現状である。

### 第2回地域 ITS 研究会

日時：平成15年1月29日(水) 17:30～19:30

場所：(財)北海道道路管理技術センター会議室

参加者数：33名

概要：「冬期路面管理」をテーマとして、会員企業2社から自社技術のプレゼンテーションをいただき、その後、その技術に対する質問・意見や今後の可能性などについて活発な意見交換が行われました。

#### 1. 会員企業からのプレゼンテーション

「冬期路面管理用滑り摩擦抵抗測定機について」

ソリトン・コム(株) 常務取締役 野田竜也 様

「路面状態検知センサの研究開発について」

札幌総合情報センター(株) 金村直俊 様

#### 2. 意見交換会 (一部)

- ・除雪・路面管理を性能規定で発注することにより、基準値を満足する最小限の散布量になり、コストの削減につながるのではないかと。

- ・フィンランドでは、受託者(性能規定値の証明)と発注者(性能規定値の証明)の双方がすべり抵抗値を計測しており、かつ積み上げられた莫大なデータにより定量的に判断・管理・評価ができるようになっている。

- ・定量的な裏づけを持ってサービスレベルを明確にすることは必要であるが、それが果たして住民や道路利用者に通じるものなのかなどについて、今後、官民のコンセンサスが大切。

- ・道路利用者のニーズとは、サービスレベルを全体的に上げるのではなく、極端に低い状態(制御不能のような感じ)を無くしてほしいのだと思う。

- ・車自体に装着されているの加速度センサを利用すれば、摩擦抵抗の情報を一般の車から採ることは技術的には難しいことではないと思う。そういうところで官民がお互いに情報の提供をしあえば、良い方法が見つかるのでは。

- ・最終的には利用者ニーズにどうこたえていくかということが一つの目的だと思うしゴールだと思う。確かに管理面なら管理面の効率化とコストということもすごく大事だと思うが、最終的には利用者ニーズにどうこたえていくか、それがビジネスモデルにつながる一つの大きな要因だと思う。

- ・産学官で話すときにいつも意識するのは、利用者にそのサービスを楽しむ側からしたらどうなのか、という意識は常に持った方がわかりやすい。今回も利用者側が、どうサービスを受けられるのかが見えなかった。利用者ニーズを受けた話をすると見えてくると思う。

これらの内容はフォーラムホームページでもご覧いただけます。

(社)中部経営情報化協会第22回ITS研究会にて「札幌圏

### ITS推進フォーラムの活動の現状と展望」を発表

(社)中部経営情報化協会(COMA)より、各地域におけるITS推進の現状と今後の取組みについての発表の機会をいただき、平成15年1月23日(木)に名古屋市内で開催されたCOMA ITS研究会に出席してきましたので、その内容についてご報告いたします。

研究会には主催団体・後援団体の会員を含め19名の方が参加されました。プログラムは以下のとおりです。

テーマ	講師名
2004年ITS世界会議について	ITS Japan 名古屋事務所 所長 横井 健志 氏
あいちのITSの推進について	愛知県ITS推進協議会 事務局 青木 透 氏
関西ITS推進協議会/KIPAの活動の現状と展望	関西ITS推進協議会 事務局長 柳本 和良 氏
札幌圏ITS推進フォーラムの活動の現状と展望	札幌圏ITS推進フォーラム 事務局 金村 直俊
中国ITS推進会議の活動の現状と展望	中国地方整備局道路部道路計画課 課長補佐 内海 一幸 氏

まず、各地域の推進団体の活動内容としては、大きく ITS の広報、啓発・普及、調査研究、支援・連携にわけることができます。当フォーラムでもほぼ共通した活動を実施しておりますが、他地域の特徴的な活動を示します。

関西ITS推進協議会は関西経済連合会を母体として発足した組織ですが、活動の柱に「社会実験の推進」を掲げていました。実際にこれまでの実績として6つの事例紹介がありましたが、実験モニター参加者が少ないなど、まだまだITS自体の知名度が低いことを説明されていました。また今後は民間主導でのITSの展開が必要とお話されました。

一方、中国ITS推進会議は国土交通省中国地方整備局が中心となっているものです。この会議とは別に中国経済連合会が中心となって産学官の協力・連携のための中国ITS研究会も組織化されているようです。現状の課題としては、ITSプロジェクトとしての市民や自治体の認知度の向上、新技術を積極的に採用し、安く効率的なシステムの開発、地域の交通課題への対応の強化を掲げられていましたが、これらの課題に対応するために実施されている「i-TREK™ プロジェクト」、「フィールド実験プロジェクト」、「道路管理高度化プロジェクト」を紹介していただきました。

全体を通して共通していたことは、地域によらずITSが転換期にきていること、これまでの行政主導型から官民連携での取組みが必要とされていること、そして一層の広報・啓発普及活動を行い現在以上に市民レベルへの浸透を図ることが必要であり、当フォーラムでも地域ITS推進研究会ほかの活動を通じて一層の推進を図る必要があると感じました。(事務局 金村直俊)



(上写真) 青木氏



(上写真) 筆者の発表の様子

### 第3回地域ITS推進研究会開催のご案内

地域ITS推進研究会の第3回目を以下の内容で実施いたします。参加ご希望の方は記載の方法によりお申し込みください。

第3回研究会では「観光」を主なテーマとして、会員企業からプレゼンテーションをいただき、その後自由な意見交換を予定しています

日時：平成15年 月 日( ) 17:30～  
場所：(財)北海道道路管理技術センター会議室  
定員：35名

テーマ：  
議 事：  
1.会員企業からの話題提供  
沖電気工業(株)  
2.フリーディスカッション

参加申し込み：

研究会に出席を希望される会員は、出席者の所属・氏名を記載の上、下記の連絡先へ電子メールまたはFAXにてご連絡ください。会場の関係上、収容人数に限り(35名)がありますので、出席の希望に全てそえない場合も想定されます。大変恐縮で申し訳ありませんが、ご了承くださいませようお願いいたします。

事務局アドレス：chiiki-info@sapporo-its.gr.jp  
FAXの場合は011-232-0048

### 事務局よりお知らせ

フォーラムでは各種連絡・お知らせ、特別会員の国・地方自治体の方からの事業や公募のご案内等を電子メールでお伝えしております。電子メールアドレスをお持ちの方で、まだ登録がお済みでない方は、この機会にぜひメールアドレスをお知らせください。info@sapporo-its.gr.jp または011-232-0048(FAX)で受付しております。ご連絡の際は、会員名と電子メールアドレスを忘れずをお願いいたします。連絡先が変更になった場合は変更申込書をご利用の上、郵送またはFAXで事務局まで送付願います。

年会費納入のお願い

年会費をまだお納めになっていない方はお早めにお納め願います。なお振り込み手数料は各自でご負担願います。

(振込先) 北洋銀行札幌市役所支店 (普)3135872

札幌圏ITS推進フォーラム

会報第8号は平成15年6月発行予定です。

編集・発行 / 札幌圏ITS推進フォーラム (Sapporo ITS Forum)

<http://www.sapporo-its.gr.jp/>

事務局 / 〒060-0001

札幌市中央区北1条西3丁目MNビル10階 札幌総合情報センター(株)内

TEL 011(232)4848 FAX 011(232)0048

E-mail [info@sapporo-its.gr.jp](mailto:info@sapporo-its.gr.jp)

事務局長：中村 久、事務局員：金村 直俊、安藤 浩司